

機能内容
一連のシステム操作(登録・参照など)がマニュアルを参照する程度で直感的に行えること。
利用頻度の高い項目はボタン化・リスト化し、入力の簡略化を図ること。
ボタンにカーソルが重なった時に機能名が噴出し表示されるなどの操作を支援する機能があること。
警告などを出す際には、次の動作の誘導やメッセージを添える機能があることが望ましい。
特に重要な処理(データの削除等)については、「OK」もしくは「キャンセル」を表示し、処理できること。
入力必須項目が一目でわかるようになっていること。
入力ミス回避のために、論理チェック機能により誤入力を未然に防げるチェック機能があることが望ましい。
選択項目等はプルダウンメニューにて簡易に選択できること。
受け付けた案件とその回答の情報については、必要に応じてサイトに公開できる機能を有していることが望ましい。
システムを利用する際に認証するパスワード等のユーザ情報を個別に更新ができること。
ユーザID毎に機能毎の利用者権限の設定ができること。
データの登録・更新・削除や管理者によるマスタメンテナンス等、システム内のデータベースの更新が生じる操作について、操作ログを出力できること。
操作ログの内容は、日時、ユーザID、操作した機能、対象データ等、稼働状況の分析やセキュリティを維持する上で必要とする項目とすること。
一覧に表示する際は、日時、ユーザID、操作した機能等により、検索条件を指定できること。
操作ログは、CSV形式でファイル出力ができること。
サーバ機器の故障を自動的に検知し、管理者及び保守事業者にメールの自動送信により通知することが望ましい。
サーバOSについては、最新のセキュリティ対策が施されるようにメーカーから提供されるセキュリティパッチを適応できること。なお、提案者は、事前にセキュリティパッチの適用可否判断が行えること。
本市指定外のウイルス対策ソフトを導入する場合には、最新の状態が保てる対策を施すこと。
日付入力項目には、カレンダー入力機能を有すること。
年月日入力はシステム使用日が自動入力となること。また、変更も可能であること。
システムでエラーが生じた場合には、その内容を画面上に表示させること。
データ登録後に受付入力した内容を確認画面に表示できることが望ましい。
画面上に入力エラーが複数ある場合には、一度に全てのエラーメッセージ内容が確認できることが望ましい。
検索画面において、以下の検索条件項目は「一部一致(部分一致)」で検索可能なこと。「氏名(漢字・カナ)」「住所」等

検索結果などの一覧画面に表示されているデータは一覧表示内容をCSV形式またはエクセル形式で出力できること。
全項目について出力条件を指定しCSV形式またはエクセル形式で出力できること。また、出力項目については、任意に項目指定が可能であること。
システムは複数担当者が同時接続を可能とし、データ単位に排他処理を行うことが可能であること。また、その際にデータの整合性が保証されること。
登録処理、検索処理、印刷処理の処理中には、処理中メッセージのポップアップダイアログ表示をすること。
必須入力項目が画面上で識別できること。
回答する必要があるものと無いもののフラグが立てられること
各種添付ファイルについてはword、excel、PDFで開くことが可能なこと。
各種添付ファイルはサムネイルとして表示できることが望ましい。また、サムネイルをクリックすることにより、添付ファイルが実寸表示されることが望ましい。
帳票は出力前に画面で印刷イメージを確認でき、印刷ページを指定できること。
入力項目毎に共有、非共有の設定ができること。また、案件毎に共有、非共有の設定ができること。
全ての画面から直接ログアウト可能なこと。
全ての画面から初期メニュー画面に直接遷移可能なこと。
操作ログ及び、操作権限の管理ができること。
システム状態の監視機能を有すること。
ユーザーのアクセス状況が確認できること。
各種マスタの管理機能を有すること。
所属単位/職員単位で操作権限の設定が出来ること。
電話、FAX、窓口などで受け付けた問合せデータは、手動で入力可能なこと。
問合せの発生元(手紙、メール、陳情・要望等)の別を登録できること。
メモ帳、画像、地図、PDF等の添付ファイルをつけて案件を登録することができる。
「各課への問合せメール」、「わたしの提案」などメールでの登録の場合、自動的にシステムに登録されること。
登録をすると自動的に採番されること。まだ登録まではしない案件については一時保存(番号が振られない状態)が可能なこと。
市民からの問合せに紐付けて回答を登録できること。
市民からの問合せ内容部分については編集できないように施し、回答部分のみ入力可能とすること。
メモ帳、画像、地図、PDF等の添付ファイルをつけて回答を登録することができること。

市民への回答は各課のメールアドレスから発信することを想定しているが、返信により再度問合せがあった場合にその内容を容易にシステムに登録ができることが望ましい。
過去の回答案件を流用して回答の登録ができることが望ましい。
担当課で回答案件の共有、非共有が選択できること。振り分けた案件で1課でも非共有としている場合には、非共有とすること。
登録された案件について、担当課への振り分けを可能とすること。
振り分けた案件については、1つの問合せに対して複数課が回答を登録できること。
振り分ける際に、「回答依頼」、「照会」、「参考送付」等、回答の要・不要に分けて依頼できること。
振り分ける際に、「回答期限」を定めて振分けられること。
複数の課に対して同時に振り分けを行うことができること。(最大で15課)
担当する質問でない場合、回答課を指定して、回答依頼(転送)ができること。
システム上で案件の差し戻しができること。
転送や差し戻しを行った場合、その履歴がわかるように情報を一覧で確認できること。
複数課(最大15課)に対して、回答依頼、取りまとめができること。
振り分けた案件についてはメインの回答に振り分けた回答を紐付けた形で確認や保存ができること。
回答の取りまとめ作業が容易に行えるように、メイン回答と振り分けた回答が一覧表示されるとともに、コピー&ペーストによりメイン回答の作成ができること。
局、部、課のIDでログインすると、それぞれの部署に紐づいた案件について、未対応、作成中、作成済み、回答済み等のステータスが表示されること。
管理者はタイムリーに全案件のステータスと内容が確認できること。
長期間、未対応・作成中となっている案件や回答期限が近づいている案件についてはアラートが自動で表示されること。アラートは「わたしの提案」「各課の問合せメール」等それぞれに定められた回答期間の回答期限日から逆算して表示させることとする。
各ステータス毎にデータを抽出し、一覧表示できること。
回答済みとなった案件のみ、全部署からの閲覧が可能となること。
登録されている案件をキーワードで検索することができること。
登録されている案件を絞り込み検索することができること。
添付ファイルをつけて登録された案件について、添付ファイルまで含めた検索を可能とすること。
問合せ内容と回答の出力を可能とすること。

案件発生件数を把握することが可能であること。

案件発生件数をデータとして出力することが可能であること。

発生部署別、発生事由別、期間などによる問合せ件数ランキングが出力できること。

分析結果をグラフ等で表示し、出力することができること。

市のホームページから登録された案件は、送信されてきたメールの添付ファイル(ZIP形式(※1))を指定のフォルダに保存(展開)すること。
※1既知のパスワードが設定され、部署情報を含むCSV形式のファイルが一つ格納されている。

展開したファイルの内容(※2)を取得して、サーバで構築されたサイトの指定リストに追加すること。
※2問合せフォームが6種類あり、それぞれ項目が違う。詳細は仕様書別紙4入力フォームを参照のこと。

管理者のみがマスタの変更ができること。

プルダウン等の入力項目については、マスタで内容を変更できること。

組織変更等の際に、組織名等のマスタデータの取込が可能であること。

組織変更等の際に、組織名等のマスタデータの取込が可能であること。

画面要件確認票に記載された要件を満たすことが可能であること。